

事業所自己評価シート

保護者による評価

A環境面

子どもの人数や活動内容によっては、手狭に感じる事もある

階段に手すりがあり、配慮されているが、慎重に上り下りしないといけない

お迎えの時間は、前後の利用者で玄関が混み合ってしまう事がある。

B児童への支援内容

全体での活動と個別の支援があり、子ども一人一人にあった支援が提供されている

季節ごとの行事にあわせてカリキュラムを組み、内容が充実している。

こちらの要望に対してもすぐに対応してくれている

家ではなかなかできない体験、活動をさせてくれている

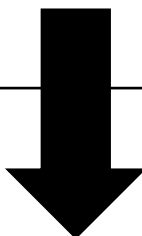
子どもの良い所をほめてくれて感謝している
学校の様子や不安な事も聞いて下さり、相談にのってくれている

C事業所からの情報発信

ホームページの構成でブログなどの場所がわかりにくい

D非常対応

避難訓練が定期的に行われ、その都度の報告がなされている。



事業所内での分析

【共通点】

お教室が狭く感じる方というご意見があるが、幼児から放デイにそのまま上がるお子様がほとんどで、個々の成長が関係していると思う。

また、フィードバック時は、前後のお子様と保護者様が入り口に集まっているので、そこでのお話しは今後は考慮して行かなくてはならない問題と認識している

子どもへの支援は、情報共有しながら、一人一人のニーズにあった支援が丁寧に行われていると感じている

保護者様のご相談やご希望に丁寧に対応できている

K式、whsk、をとれる心理士等もいる

分析・検討してみた

事業所の強み

- ・子どもたち一人一人に寄り添い、必要な支援ができていること
- ・保護者様のご相談や、要望に丁寧に対応していること
- ・スタッフ間の連携が取れていて、情報の共有ができていること
- ・カリキュラムの工夫がなされ、子ども達が楽しみに通ってきていること
- ・学校や、園との連携が取れて、お互いの共通理解のもと、支援がなされていること
- ・避難訓練等もしっかり1年に2回実施され、危機管理意識が浸透していること
- ・ブログに掲載し、常に、子ども達の様子を発信するようにしている

事業所の改善点

- ・お教室が子どもの成長とともに、手狭に感じる事がある。次の時間の入れ替え時は、玄関が込み合う場合がある
- ・込み合った時は、階段の狭さが気になる場合もある
- ・フィードバック時には、さらに込み合うので、個人情報なども心配される
- ・職員研修はあるが、先生方のスキルアップが欲しい。

事業所の改善への取り組み

- ・お教室の手狭感は、幼児から放課後デイに上がるおこ様がほとんどで、個々が成長しているので狭く感じる場合があります。少人数の編成にするなどの工夫をして対応していきます
- ・フィードバックはなるべく丁寧にと心かけているが、そのために、出入り時に混雑してしまうのであれば、ノートに活動内容は記しているのので、要点のみをお伝えしていく方向で調整していく
- ・また、何かあれば、個人面談等で対応していくようにする
- ・職員研修は行っているが、常勤、非常勤問わず、全員が多くの研修を積み、一人一人のスキルアップができるようにしていく
- ・言葉かけは、子供たちの社会性と生活習慣につながっていくので、スタッフ一人一人が丁寧な言葉使いとタイミングにも配慮していくように心がけていく。
- ・スタッフの紹介はお教室の壁に掲載するようにした
- ・保護者会では、全職員が出席し、お話の中に入り、より一層のコミュニケーションに努めている

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・開所から6年が過ぎ、お教室としての形が出来てきた所です。

アンケート結果を見ると、いくつかのご指摘はありましたが、概ね、支援の内容は保護者様から、一定のご理解を頂けていると思えました。

改善出来るところは早急に行い、注意すべき所は、心して行って行く事を、スタッフ一同と確認いたしました。

慣れてきたところで、思わぬほころびが生じやすくなるかと思えます。鶴見に3つめの事業所を構えることもできました。お互いの独自性を保ちながら、お教室全体がスキルアップできるように研鑽を積んでいきたいと思えます。